

羽村市議会改選後の初議会...議会の役職が決まりました

議長 水野義裕氏

副議長 滝島愛夫氏

議長、副議長の選出は慣例により8日の議員総会における投票で内定しました。

今回は、新政会(自民党)と連立を組む川崎氏、そして公明党が推す船木氏が9票、共産党と民主党、そして一人会派の多くが推す水野氏が9票で同数となり、「くじ」により、水野氏が議長となりました。

市民の多様化が議会にも反映

10数年前までは、自民党系議員が6~7割を占め、議長をはじめ議会の主要ポストを独占し、市議会を牛耳っていたものですが、最近急速に議席を減らし、議長も出せない事態が続いています。市民の多様化がすすみ、「古い体質を変えてほしい」との市民の声が議会にも反映されているのではないのでしょうか。

新しい会派構成

新政会	4	船木、瀧島 濱中、橋本
日本共産党	3	中原、市川 鈴木
公明党	3	露木、石居 西川、
民主党	2	馳平、大塚
市民クラブ	1	川崎
市民ネットワーク 「いきいき広場」	1	門間
羽村クラブ	1	中根
羽村21	1	水野
新しい風	1	小宮
世論	1	山崎

大資産家減税、庶民増税は許せない 鈴木たくや議員が討論

市税条例改正の承認を求める議案が市長から出されました。これに対し、鈴木たくや議員が日本共産党を代表して討論を行いました。

この改正には、株の売買でのもうけに対する税金の税率がもともと20%なのに、2003年から2007年まで10%に減税していたものを、さらに1年延長しようという内容が含まれています。鈴木議員は「これは大資産家優遇税制との批判があるもので、一方では、庶民は定率減税の廃止で大増税が押しつけられており、格差の拡大、国民生活に被害を及ぼす税制のありかたは許せない。史上空前の利益をあげている大企業や、株で大もうけしている大資産家への課税を厚くし、庶民に還元すべき」と発言しました。

日本共産党市議団の役職



中原まさゆき 議員

総務委員
議会運営委員会副委員長
多摩都市モノレール建設促進特別委員
青梅、羽村地区工業用水道企業団議会議員
都市計画審議会議員



市川えい子 議員

経済委員
基地対策特別委員
青梅、羽村地区工業用水道企業団議会議員
土地開発公社評議員



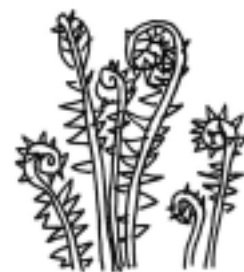
鈴木たくや 議員

厚生委員
基地対策特別委員
羽村・瑞穂地区学校給食組合議会議員
青少年問題協議会委員
議会だより編集委員

羽村民報

2007年5月27日 No.849
発行 羽村民報編集委員会
責任者 野崎 衷

日本共産党羽村市委員会事務所
電話 579-2132 FAX 579-2106
<http://www.jcphamura.org>



無料法律相談

6月12日(火)午後1時半~
羽村市委員会事務所 *要予約
中原まさゆき TEL 554-1163
市川 えい子 TEL 554-1140
鈴木たくや 080-1058-9450